



こんにちは
日本共産党

市会議員

西野さち子です

くらしの目線で市政を変える

尾崎さん
健闘

力あわせてくらしを守る公約実現を！！

桃山・醍醐のみなさんの願い実現へ全力！！

4月6日に投開票された京都府知事選挙は、「何よりも府民生活」「京都から世直し」「貧困の連鎖を断ち切る」と奮闘された尾崎望さんは、21万5744票を獲得しましたが、残念な結果となりました。ご支援いただきました多くの皆さんに心からお礼を申し上げます。

選挙中に消費税増税に対する多くの悲鳴が聞こえてきました。また、原発再稼働に反対の声も届けられました。9条の会・醍醐では、集団的自衛権についての学習会が開かれました。安倍内閣の暴走に対して「国政選挙がないから地方から声を上げたい」「国の政策に反対の意思表示をしている人がい」との声が選挙戦後半にどんどん増えていったことも事実です。

尾崎望さんは「医師に戻るが、これまでどおり、社会に矛盾があれば声を上げた先頭に立ち続ける」と決意表明されています。



尾崎望さん 報告集会で決意を語る

共産党小栗栖後援会が 浸水被害アンケート調査

京都市は昨年11月議会に補正予算で小栗栖浸水被害の賠償のために9億4千万円を提案し、可決しました。ところが被害賠償がなかなか進まず、予算の大半の8億8千万円を来年度に繰り越しました。



市議会予算委員会で、市長に早期の被害補償を迫る西野さち子市議

日本共産党小栗栖後援会では、被害者の皆さんの声を京都市に届けようと浸水被害アンケートを行いました。アンケート回収のポストになっていただくなど、地域の方に協力していただき、配布直後から「商品が水につかってしまったのに、まだ賠償の話が進んでいない。困っている」「ローンを組んで家の改修をして返済が始まっているのにまだ話が進まない」など、多くの深刻な声が届けられています。

西野さち子市議は「この声を直接京都市に届け、一刻も早く納得のいく示談を進めるために頑張ります」と話しています。アンケートに答えていただいた皆さんありがとうございました。

市民に公開せず定数削減 オール与党の暴挙！

3月17日に予算議会が閉会しました。閉会本会議に突然、1票の格差を是正するためとして自民党・民主みよこみらい・公明党・京都党が議員定数2減（上京区・左京区）を提案し無所属議員は賛成しました。

最初にこの提案がされたのは、3月14日の午後5時ごろです。まともな議論もせず、議員の定数を減らすことは許せん。また、公開された

場所での議論をするとは民主主義の原則です。日本共産党議員団は、①西京区、伏見区、山科区を各1名増やし市民とのパイプを太くすること、②議員報酬3割削減で3億2400万円の経費を生み出し、市民の暮らし応援と定数増の財源に回すことを提案しました。

たとえば伏見では約2万3千人に一人の議員ですが、宇治市では約6千8百人に一人の議員です。民主主義を守るために一緒に声を上げましょう。

